

8 / 3 (日) 第32回ふじしま夏まつり

子ども相撲大会	AM 9 : 00 ~ PM 0 : 30 藤島小学校相撲場
魚つかみ捕り	PM 1 : 00 ~ 1 : 30
焼肉フェスティバル	PM 4 : 00 ~ 7 : 00
庄内伝統芸能祭第1部未来への息吹	PM 4 : 00 ~ 6 : 00 出演予定 4:00~ 主催者あいさつ 4:10~ 消防団梯子乗り・纏振り 4:25~ こりす保育園獅子踊り 4:40~ 藤島児童館稲妻太鼓 5:00~ 藤島中学校吹奏楽 5:15~ 東栄小学校獅子踊り 5:30~ 渡前小学校こども獅子 5:45~ 獅志舞笑(ししぶしょう)
庄内伝統芸能祭第2部伝統の鼓動	PM 6 : 00 ~ 8 : 15 出演予定 6:00~ ふじしま太鼓 鼓粋(藤島) 6:15~ 高寺八講(羽黒) 6:30~ 松根天狗舞・獅子舞(櫛引) 6:45~ 田麦俣神楽(朝日) 7:00~ 鼠ヶ関弁天太鼓(温海) 7:15~ 古郡神楽(藤島) 7:30~ 東堀越獅子踊り(藤島) 7:45~ 湯田川神楽(鶴岡) 8:00~ 八色木獅子踊り(藤島)
盆踊り大会	PM 8 : 20 ~ 8 : 50
出店・屋台	PM : 0 : 00 ~ 8 : 30

第24回ふじしま焼肉フェスティバル

●開催日時 8月3日(日) 16:00~19:00

●開催場所 鶴岡市藤島体育館 北側 芝生広場(ふじしま夏まつり会場)



8月3日(日)に第32回ふじしま夏まつりが開催されます。

子どもすもう大会から魚つかみ捕り、第13回目となる伝統芸能祭、そして盆踊り大会と子供から大人まで楽しめる内容です。

第24回を迎えた焼肉フェスティバルも同時開催で、見て感動、食べて感動です。

藤島民報

2014年 8月3日

第960号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一(宝徳)
TEL 0235-64-3941
携帯 090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力を。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい(月177円程度)
7月 55人 51,716円
6月 23人 50,685円

羽黒地域の学校統廃合について、6月23日に第4回学校適正配置羽黒地域検討委員会が開かれ、羽黒第3小学校(後田)と第4小学校(上野新田)の2校の統合に合意し、統合時期は平成28年4月とすること、羽黒第1小学校(手向)についてはとりまとめに至らず、検討期間を10月まで延長し、期間内において状況が変わらなければ地域検討委員会は開催しないことを決めました。



羽黒第3小学校HPから

統合新校の位置は羽黒第3小とし、懸案事項の課題については統廃合の形態は白紙の状態である。ただし、計画の基礎となる状況あるいは計画の趣旨は、今次計画を進める中で地域の皆様にはご理解いただけたと思うので、今回のような説明会、懇談会、地域検討委員会というプロセスが必要かを検討していきたい。

羽黒3小と4小を統合
1小は10月まで意見集約
次期計画も地域の合意尊重

合準備委員会を設置して調整するとしています。
次期は28年4月から

手法の見直しは現時点では方策はもっていないが、地域の理解と合意を尊重することに変わりはない。」と述べています。
少子化と急激な人口減少が大問題になり、学校統廃合が地域存続に致命的な影響を与えないか、突っ込んだ研究・検討が必要です。

超早場米の内金(概算金) 3000円安のスタート

日本農業新聞は7月24日付けで、「平年作で19万ト過剰 14年産米の作付け見込み」の記事で、14年産米は生産数量目標を3万5000ヘクタール上回り、平年作なら19万ト分の過剰が発生すると報じました。

前年産の在庫61万トのうち35万トを隔離しても26万トが持ち越し在庫になり、これに19万トが加わります。

さらに同紙29日付では「超早場米の内金下げ 産地在庫の増加などで反映 高知」の記事で、JA全農こうちが定めた内金(概算金)は、「南国そだち」の第1期が前年同期比3000円安の60キロ9000円。同じく「ナツヒカリ」は同3400円安の8200円と報じました。



しんぶん赤旗7月18日付『文化の話題』



しんぶん赤旗日曜版7月20日号



ミレー「バター作りの女」1870年 油彩 吉野石膏コレクション 山形美術館所蔵

ここ庄内では、前年産の概算金1万1000円より3000円安となれば、過去最低だった2010(平22)年産の9000円をも下回ります。

22年産米は米戸別所得保障モデル対策が始

「種をまく人」種はソバ!

ミレー生誕200年

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

しんぶん赤旗7月18日付『文化の話題』。府中市美術館長・井出洋一郎さんの話である。

また、同日曜版20日号も「農民が主役時代に衝撃」大きく腕を振り、種をまく男。堂々とした姿態から威厳を感じさせる」と紹介している。

ミレーは1814年フランスの農家に生まれ、農民を描いた画家として大成。「落穂拾い」「晩鐘」などでも親しまれ、「種をまく人」は岩波書店のシンボルマークでもある。府中市美術館、英国ウエルズ国立美術館、ボストン美術館、山梨県立美術館、米国カーネギー美術館に5つあることに驚き、なぜという疑問も湧く。

井出さんは、「10年かけて構図を研究しながら寸法を拡大し、理想の『種をまく人』像を創造していった」という。ミレーのメッセージ。1つは、5作品は少々の違いがあるが、すべて斜面の畑で、まかれた種はパンにする

まり、米価下落の補てんがありました。安倍内閣は今年産から廃止しました。

政府は米の需給と価格安定に冷淡な態度をとり続け、安倍政権を打倒する以外に農家の展望は開けません。

小麦でなく、寒冷地で



国民監視は違法だ

自衛隊に情報保全隊というのがあり国民を監視していること、そんなことは許されないことだからと裁判になっていることを、いつかこの欄に書いたんです。

▼一番の仙台地裁は、12年3月この情報収集は違法だと賠償を命じたが、止めれとはしなかったのだ。オカシイでしょ。普通だば、オマー、ワリゴドシタンダサゲ、アドヤメレヤノとなるんだろや。

▼そうなっていない。だから訴えた側は勿論不満だから控訴したんだが、悪いことをしていると言われた国も控訴したんだ。

▼そもそもこの国民監視というのは、自衛隊をイラク戦争に出すのに反対だという集会を監視したというもの。

▼集会の届け出はサツに出すものだからナゼ

も育つソバであること。ブルジョアが、食べられないというソバの種をもつて、官展に乗り込んだ衝撃作である。右からは厳しい批判、左からは称賛の嵐が起ったという。

2つは、農村で働く女性の役割を絵画で称えた初の画家でもあり、山形美術館に「バター作りの女」が展示されている。

自衛隊が集会を知っていたのかは問題だが、国民の税金から給与を貰っている公務員が、イラクへ行くのはアブネーゾ、憲法の問題もアルゼ、というのがナゼテメーラからニラマレルことになるんだヨ。

▼仙台高裁の控訴審では、どんな仕事を誰の命令でやっていたのかを明らかにするために、保全隊をまとめていた元保全室長を証人に申請したト。

▼28日の仙台高裁で元保全室長が初めて法定で証言台に立つことを決定したが、防衛大臣が承認する内容の範囲で、シャベルことが制限されるという限定付きなんだぜ。

▼これもオカシイでしょう。最高の上司が裁判での口止めをしているんだから。秘密保護法が発動したら全部秘密でサ、裁判にもできないことになるカモ。

▼日本の三権分立はどうなるんですかネー。

(石川)